

## 令和8年度 経営方針

西東京市立ひばりが丘中学校長  
辻 康 一

生徒たちは、少子高齢化、グローバル化、ICT化など、急激な社会の変化、そこから起きる新たな様々な人権侵害の発生、世界的にはやまない戦争や内乱、地球温暖化による気候変動や災害等の今を生きています。未来を生きる生徒たちが、自分の人生を切り拓いて生きていくためには、基礎的な知識、技能を習得するとともに、様々な場面で主体的に判断し、他者と協働して課題を解決する力を育成しなければなりません。

そのために今年度の経営方針では「西東京市教育計画」にのっとり、持続可能な社会のつくり手の育成と生徒一人一人のウェルビーイングの向上を目指し、人権教育を中核に、西東京市あったか先生の理念の下、東京都人権尊重教育推進校の研究で培った成果を実践することで教育目標を達成していきます。

### 教育目標

自ら学ぶ（問題解決能力の育成）  
豊かな心（人間関係形成能力の育成）  
夢の実現（グローバルに活躍できる実践力の育成）

#### ○目指す学校像「地域、保護者の期待に応える学校」

- ・生徒及び教職員一人一人が大切にされ、温かい雰囲気の中、一人一人が主役となる学校
- ・生徒、保護者、地域から信頼を寄せられる学校
- ・組織力が高く、柔軟な対応力や確実な実行力のある学校

#### ○目指す生徒像「知・徳・体のバランスがとれた生徒」

- ・授業を大切にし、自ら考え、主体的に学ぶ生徒
- ・自他の価値を尊重し夢の実現を目指して未来を切り開く生徒
- ・健康と体力増進に自ら努める生徒

#### ○目指す教師像「高い人権意識と実践的指導力をもつ教師」

- ・人権意識を高くもち「西東京市あったか先生」を実践し、サービス事故ゼロに全力で取り組む教師
- ・学習指導力、生活指導・進路指導力、組織貢献力、外部との連携折衝力を高め、教育公務員としての自覚と誇りをもつ教師
- ・柔軟な対応力を持ち、共に高め合い学び続ける教師
- ・働き方改革を実践し豊かな生き方を示すことができる教師

## 学校目標を達成するための経営方針について

### (1)「自ら学ぶ」生徒（問題解決能力を育成するために）

- ①「主体的、対話的で深い学び」の実現により、生徒の「知識・技能の習得」「思考力・判断力・表現力の育成」「学びに向かう力・人間性の涵養」を図る。特に1単位時間の学習過程で、話し合い活動「ひばりスタンダード」（目的・役割・進行を意識した話し合い～もやしちゃん～）やICTの効果的な活用等で、生徒の主体性を育む質の高い授業を実践し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実を実現する。
- ②西東京市 GIGA スクール構想の基本方針に従い、一人1台のタブレット等のICTを効果的に活用し、授業での教材の提示、調べ学習や発表や発信、家庭学習の充実を図り、生徒の問題解決能力、情報活用能力の育成を図る。
- ③「主体的、対話的で深い学び」を実現するための授業、また「人権に関わる普遍的な取組として人権尊重の理念を大切にした授業」を実現するために、ICTの効果的な活用、ひばりスタンダードによる話し合い活動などを効果的に取り入れた研究授業を一人1回以上実施する。
- ④学校評価アンケートにおいて、生徒の全授業アンケートを追加し、それらの結果をもとに授業改善につなげる。

### (2)豊かな心を育む生徒（人間関係形成能力を育成するために）

- ①生徒一人一人を大切に「西東京あったか先生」を実践し、東京都人権尊重教育推進校の研究主題「自尊感情を高め、主体的に考え行動する生徒の育成～互いに認め合い支えあう関係づくり～」の研究の成果を授業や特別活動の指導に活かす。特に生徒会、委員会活動では、生徒の主体的な取組を充実させることで、「互いに認め合い支えあう」環境づくりを推進する。
- ②特別支援学級と通常学級の教職員とともに指導の強みを活かし合い、校内研修の充実を図り、人権教育および特別支援教育を推進する体制を確立する。特にユニバーサルデザインの考え方をふまえた授業実践、特別支援学級の生徒が通常学級の生徒とともに学ぶなど、インクルーシブ教育の充実につなげる。
- ③「考え、議論する道徳」の授業では、他者と尊重しあう豊かな心を育み、特にいじめ、インターネットによる人権被害等の人権課題に関わる授業を充実させる。
- ④各教科、道徳、総合的な学習の時間、学級活動等で行う、話し合い活動「ひばりスタンダード」では、人権教育の視点（違いを認めて受容する能力、協力的、建設的に問題解決に取り組む能力）を大切にし、コミュニケーション能力を向上させる。
- ⑤西東京市いじめ防止対策推進基本方針および本校のいじめ防止基本方針に基づき、いじめ未然防止対策の充実を図る。また生活指導部、教育相談、特別支援委員会（校内委員会）による細やかな報・連・相と組織的な指導体制を確立する。外部の機関との行動連携により、生徒の健全育成といじめ、虐待、不登校等の学校不適応の未然防止、早期発見、的確な対応、及び再発防止を推進する。

- ⑥西東京市「いじめ防止強化月間」(年3回)でのいじめに関する道徳の授業を年3回以上、弁護士によるいじめ防止出前授業の実施、いじめに関する校内研修を3回実施し、教師も生徒もいじめを許さない環境づくりを推進する。月1回行う生活アンケート、年2回の教育相談週間の実施やSC、関係機関との連携を通して、生徒一人一人に寄り添い相談活動の充実に努め、特に2学期はじめのスタートアップ週間の面談は不登校や学校不適應の防止を図る。
- ⑦昨年開始した「ひばりホットルーム」(仮称)による不登校生徒の別室指導、オンライン授業等では、不登校巡回指導員の助言を受け、生活指導員や特別支援教室専門員の協力を得るなどしながら、登校復帰をするチャンスや環境をつくる。
- ⑧生徒一人一人の情報を細やかに共有し、義務教育9年間の学びの連続性を確立するために、年二回の小中連携の日を設定する。小学生の部活動体験や小学校への出前授業等で中学校への円滑な接続を実現する。特に今年度は、生徒会が中心となって作成したタブレットやSNSの使い方についてのひばりルールを谷戸小学校と中原小学校児童会と連携したり、あいさつ運動を小学校で実施したり、3年生の合唱を小学校で披露したりするなど、生徒主体の小中の連携を行う。

### (3)夢の実現を目指す生徒 ((グローバルに活躍できる実践力を育成するために))

- ①SDGsについて自ら課題を見付け、自然体験やフィールドワークを通じて、班活動で他者と協力して探究し、主体的・協働的な課題解決学習を行いESD教育を推進する。  
1年生では西東京のSDGsについて、2年生では西東京市内の企業や事業所等のSDGsについて調査し、西東京ふるさと探究学習を実施する。3年生では、日本の伝統・文化を学ぶ体験的な活動を通して、SDGsについて世界に発信できる豊かな国際感覚を育む。修学旅行の民泊先で、西東京市についてのプレゼンテーションを行う。
- ②「夢の実現」を具現化するキャリア教育の一環としての進路の学習では、キャリアパスポートを活用し、将来を見据え3年間を見通した一貫した学習を推進し、正しく望ましい勤労観・職業観などの概念を形成し、社会に貢献する心を養う。また、2年生では、地元企業での職場体験を通して西東京ふるさと探究学習を充実させる。
- ③4月12日の「西東京市平和の日」では、平和に関する校長講話を行い、「ふるさと探究学習」の一環として市内の平和の語り部さんによる平和や歴史についての講演を通じ、自らの生き方について考える機会を設ける。
- ④生徒会による、被災地への募金活動、ボランティア委員会による、世界の子どものためのワクチン寄付のエコキャップキャンペーン、ベルマーク収集では、学区の小学校、地域、保護者と協働して収集活動と仕分け作業を行い、世界の子どもたち救う活動で、国際社会に目を向け、グローバルな考え方を育てる。また地域祭りや地域防災等の行事へのボランティア活動に多くの生徒を参加させ、郷土愛を深め、将来、地域に貢献しようとする意欲を育てる。

#### (4)その他

- ①コミュニティスクールとして、地域学校協働活動のひばりルーム、花植え、ベルマーク収集、おやじ倶楽部による講話、授業の支援を充実させ、また地域行事（谷戸祭り、ひばり祭り、ひばりニック等）に多くの生徒がボランティアに参加することで地域に育ててもらえる機会とする。地域、保護者とともに、学校の課題改善に協働して取り組む。また、PTA組織の見直しを進め、保護者が生徒と学校のために気軽に参加できる組織にする。
- ②経営支援部の充実、SSS、副校長支援員の効果的な活用による教員の働き方改革による業務改善を推進し、学校の組織力を向上させる。